

# 希望

チューリッヒ日本人学校便り

平成 30 年 2 月 8 日発行

第 35 号

編集発行 鈴木史良

## 自分の心を見つめた作文

—— 一人ひとりの心の成長が見えた「作文発表会」 ——

2月に入り、暦の上では春を迎えました。まだまだ寒さを体感する日々が続いていますが、日照時間は確実に伸びており、朝が明るくなってきました。冷たい土の中でも、今いろいろな生命がエネルギーを蓄積し、土から顔を出すタイミングを今か今かとうかがっているところでしょう。

学校では、先週から今週にかけて体調を崩し、発熱や咳などの風邪症状で欠席する児童が出ています。体調が崩れたときには、身体をゆっくり休めることがたいせつです。あせらず、じっくり直し、学校で元気よく過ごせるようにしましょう。

2月2日（金）の午後、恒例の「作文発表会」を実施いたしました。全校児童生徒が図書室に集い、保護者も見守る中、自分で書いた作文を発表いたしました。スタートは小学部1年生から。多くの人が見守る中、正面の台の上に立ち、しっかりと礼をしてから、大きなはっきりとした声で、作文を朗読しました。こういう時は緊張のあまり、心臓がどきどきして声が小さくなったり、早口になったりしがちになるものですが、会場で聴いているみなさんに思いを届けることができました。自分一人で何度も何度も練習してこの場を迎えたのでしょうか。また、学校でも友達や先生に聞いてもらって練習してきました。

この1年生の発表態度を見て、他の学年の子どもたちも大いに発奮しました。続いて2年生、中学年、高学年……と発表がありましたが、折り目正しく礼をし、大きくはっきりした発声での発表は、たいへんわかりやすく、一生懸命さが伝わって、聴く者の心を感動させました。また、子どもたちは自分が発表し、他の児童生徒の作文発表を聴いて終わるだけでなく、数名の発表が終わるたびに、一人ひとりの作文でよかったところなどを感想として書きとめました。頑張っているところ、よいところを認め合い、それを自信につなげようとしている本校児童生徒のよさが伺われました。

最後は中学生の発表でした。これまでの自分が歩んできた道や日本の食文化から題材を選んだ中学生たち。これまでの取り組みの中で自分なりに課題を見つけ、その課題を解決しようとする前向きな姿勢にあふれていました。



みんなの前で作文発表する児童

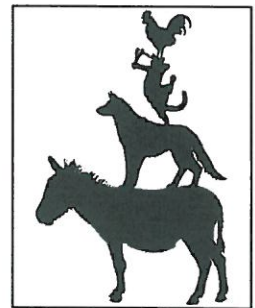


熱心に聴き、感想を書く子どもたち

ビデオ参加したタンツ・アカデミーに通う中学生の発表にも心打たれました。故郷、親元を遠く離れ、寂しさや不自由さはあるものの、バレエを学んでいこうとする喜びと心の強さを感じました。作文発表会で発表された作文は、3月1日発刊の「とんがりぼうし」創立30周年記念特別号に掲載されます。

### ＜発表作品名＞

・「チャレンジしたけん玉」	T. T (小1)
・「がんばったたいこ」	N. H (小1)
・「たのしくなったなわとび」	K. F (小1)
・「げき ブレーメンの音がかたい」	R. N (小1)
・「がんばったタイムトライアル」	K. S (小2)
・「楽しかったな モナコ」	K. K (小2)
・「やってよかったこと」	R. S (小3)
・「二度の戦いの末」	S. S (小5)
・「完ぺきなターン」	T. S (小5)
・「たくさんの練習の末」	Y. T (小5)
・「応援のパワー」	H. H (小5)
・「卓球人生」	R. H (中2)
・「年末年始の由来調べ」	M. M (中2)
・「きずな」	A. M (中3)
・「僕の夢」	H. G (中3)



## 現地校との交流

2月7日(水)に、2学期に訪問交流したクレマーアッカー中学校を本校に招いて交流しました。事前に参加生徒の名簿を入手し、それぞれの名前を漢字に当てはめたものを現地校の子どもたちにクイズ形式で紹介しました。例えば、「アリサ」という名前には「亜莉沙」、

「サブリーナ」という名前には「沙布理奈」という具合です。

なかには苦労した名前も「マイリンダ」には「舞凜多」、

「シャプイ」には「射富依好」など。現地校の子どもたちと体育館で書写の書き順を教えたり、一緒に大なわを跳んだりして楽しむことができました。



書写の見本を見せる生徒

### ＜感想＞

- ・現地の中学生との交流活動は準備や言葉の面でたいへんだった。けれども彼女らが日本文化に興味をもち、楽しそうにしている様子をとこところに見ることができた。それを見ると、やってよかったなと思えた。(中2男子)
- ・私たちと現地校生との違いはたくさんある。例えば、座り方。私たちは体育座り、彼女らは胡坐だ。爪を塗り、おしゃれな服装をしていた彼女らに対し、私たちは特徴のない恰好をしている。学校の違いを感じた。(中2女子)